生きた自主防災組織構築に向けて

平成28年（2016年）6月19日（日）

提案者：相談役　清　水　義　博

経緯

2014年4月12日（土）平成25年度高尾台町会役員慰労会＠「様々」に参加した際、相談役の一人永山順一氏から伏見台校下自主防災会に対してのご意見を頂きました。

・設置目的を満たす活動になっていないのでは？
・下部組織（町会単位組織）との協働が不明確では？
・町会住民が防災組織の存在を知らないのでは？
・公民館費に防災関係費が含まれることも知らない？

災害時に機能する生きた自主防災組織をつくることが必要

実体調査

金沢市において平成7年に自主防災組織が結成され
以来20年
町会においても自主防災組織を結成（町会役員兼務）
防災倉庫の設置、防災訓練、防災意識の啓蒙、
校下防災マップの作成等々を行って来ました
しかし、自主防災組織の多くは
①役員の交代で組織ノウハウが形成されていない
②災害時にどう行動すべきかわからないままに
③地域を守れる生きた組織づくりになっていない

伏見台町連「自主防災講座」平成26年6月10日（火））
テーマ:「失敗しない自主防災組織の作り方」

永山相談役・清水出席

生きた自主防災組織をつくるとは？
各担当者には
体験を伴う技術の習得が必要

そして
技術を伝える
ことが必要

町会の役員兼務では、生きた自主防災組織の構築は難しい、独立した自主防災組織が必要

町会役員
①任期　2年
②活動が明確
③活動時期が明確
④引継が容易

自主防災組織　兼務
①任期内で技術習得は不可能
②活動が不明確
③活動予測が出来ない
④引継が困難

◆役員会に提案

2014年　7月27日（日）

「自主防災組織見直しに関して」提案

町会の役員兼務では、生きた自主防災組織の構築は難しい、独立した自主防災組織が必要

◆構築に向けスタート

2014年8月

構築に向け中心メンバー相談役三名でスタート

橋場健次氏（1丁目8班）・永山順一氏（3丁目1-1班）・清水義博（3丁目3班）

◆2014年 11月　2日（日）

平成27年度防災訓練

高尾4町会（高尾新・高尾・上高尾・高尾台）合同自主防災避難訓練

◆ 2015年　8月30日（日）

平成28年度防災訓練

平成28年度市民防災訓練（伏見台17町会ほか）　参加：2,500名

◆構築に向け協力者を募る

２０１６年7月３０日（土）・３１日（日）

活動方針（案）

私たちのまち高尾台にも、さまざまな災害リスクが潜んでいることを具体的に知ろう、そして想像しよう、その災害が夜中に起きたら、早朝だったら、日中家族が学校や会社で自分ひとりだったら！
今、正しい知識を身につけよう、今、家族や近所の人たちと話をはじめよう！そして、身につけよう、災害から身を守る力を！今

活動内容（案）

１．知る
２．つくる
３．伝える

活動1．知る

（1）危険を知る（断層・土砂崩れ・水害危険箇所・避難基準）
（2）役割を知る（市・ブロック・連合町会・町会・班・近所・家族・自分）
（3）備えを知る（連絡網・備蓄・避難経路・避難所・台風・地震・雪害）
（4）課題を知る（いつ、誰が、何を、どうやって）

活動2．つくる

（1）組織をつくる
（2）規約をつくる
（3）マップをつくる（災害別危険箇所・避難経路・避難場所）
（4）行動マニュアルをつくる（町会編・班編・家庭編・個人編）
（5）避難所運営マニュアルをつくる（高尾・高尾新・上高尾・高尾台）

活動3．伝える

（1）危険を伝える
（2）役割を伝える
（3）備えを伝える

活動スケジュール（案）

平成28年度：
1．協力者の募集
2．高尾台4町会合同訓練に協力する
　（企画・運営・町会組織との協働を調整する）
3．次年度活動計画（案）・予算（案）の立案

平成29年度：
1．基礎的要件を確定する（活動方針・活動内容・組織・規約）
　（平成30年度総会に上程する）
2．28年度決定した内容の実行（知る・つくる・伝える）
3．次年度活動計画（案）・予算（案）の立案　→　総会にて承認

平成30年度：
1．29年度に決定した「知る活動」
2．29年度に決定した「つくる活動」
3．29年度に決定した「伝える活動」
4．次年度活動計画（案）・予算（案）の立案　→　総会にて承認